

推薦書

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校東京校 校長 殿

派遣元機関名 〇〇町商工会

所属長役職 会長

所属長氏名 〇〇 〇〇

下記の者を当機関の中小企業の支援に係る業務に従事させたいので「第36期 中小企業診断士養成課程 受講申込書」に、本推薦書を添えて受講の申込みをいたします。

受講者所属部課・役職 〇〇町商工会 経営指導員

受講者氏名 愚麗徒 聖刃主超

1. 推薦理由

当会から応募した〇〇は、こつこつ努力する前向きな姿勢と、相談者への親身な対応により中小・小規模企業の経営者から高い信頼を得ております。毎年、経営革新の承認や各種事業計画策定の申請実績を上げ、伴走型の事業所支援を最前線で実施してきました。診断士試験についても真摯な態度で受験勉強に取り組み、目標を達成した姿は他職員の手本とすべきものがあります。当会としても是非受講のうえ診断士として商工業者の支援に活躍することを期待し、推薦いたします。

2. 当養成課程修了後に配置する部課名・活動内容（予定で結構です）

〇〇は養成課程修了後に当会へ戻り、小規模事業者等の経営力強化を支援し、事業者に寄り添い支援を行う経営指導員の中核及び中小企業診断士としての活躍が、〇〇県内の若手経営指導員の良き見本となることを期待しています。将来的には、本会の上部組織である〇〇県商工会連合会にて、東京校で得たネットワークを活かした企業の経営力強化や事業承継に関する支援等幅広い活動を期待しております。

3. 貴機関が東京校の養成課程を選択した理由

東京校が実施されている中小企業診断士養成課程は、他の登録養成機関に比べて全国各地から人材が集まることから、地域に限定されない多方面の情報を得られる点に特徴があり、本会も現在に至るまで経営指導員研修として東京校に継続的に職員を派遣しており、東京校への信頼があります。特に受講者には、修了後に小規模事業者等のビジネスモデルの再構築を含めた事業計画書作成支援等の「実務能力」が求められ、併せて「人間力」も習得させることが重要であると考え、東京校の養成課程の受講を希望します。

4. 貴機関における東京校の養成課程修了者の活動状況

当会の上部組織である〇〇県商工会連合会では東京校の養成課程修了者は3名おります。第26期の養成課程を修了した〇〇は、〇〇県商工会連合会の〇〇課長として、県内の商工会の経営発達支援計画の支援や事業承継の支援に従事しています。第28期の〇〇は、同じく〇〇県商工会連合会から全国商工会連合会へ出向し、中小企業庁へ研修派遣されています。他1名は、定年後再雇用となり〇〇経営指導員として県内の商工会の支援を行い、定年退職。令和3年度より嘱託専門経営指導員として、令和2年7月豪雨災害後の経営安定相談等を実施する予定です。

5. 貴機関における当養成課程への派遣に対する方針・取り組み、今後の派遣計画等

当会の上部組織である〇〇県商工会連合会では、東京の養成課程の受講を希望する職員の支援については、資金面では助成金制度を作っており、商工会の負担軽減を行っています。毎年1名程度は診断士取得を目指すという方針に基づき、組織的に継続して取り組んでいます。令和元年診断士1次試験合格者が2名出た為、県小規模補助金の予算の都合により、他1名は第37期への応募を予定しており、今回、推薦する〇〇については、第36期での派遣を計画しております。